

SURFNAVIや添付のソフトウェアの特長、導入の際に知っておいていただきたい事柄について説明します。

SURFNAVIについて (→2ページ)	.SURFNAVIの特長や機能について説明していま す。
各部の名称と機能(→7ページ)	.SURFNAVIの各部の名称や操作方法について説 明しています。

SURFNAVIについて

お買い求めになられたSURFNAVIについて説明します。



- Intel[®] 社製高性能プロセッサを搭載
- 高速100BASE-TX/10BASE-Tインタ
- フェース(100Mbps/10Mbps対応)
- 高速ディスクアクセス(UltraATA対応)





- ESMPRO/ServerAgent
- ESMPRO/ServerManager



- メモリ監視機能(1ビットエラー訂正/2ビットエラー検出)
- メモリ縮退機能(障害を起こしたデバイスの論理的な 切り離し)
- バスパリティエラー検出
- 温度検知
- 異常検知
- 内蔵ファン回転監視機能
- 内部電圧監視機能
- BIOSパスワード機能

守機能



 購入時にはSURFNAVIソフトウェアがインストー ル済み



- El Torito Bootable CD-ROM(no emulation mode)フォーマットをサポート
- リモートパワーオン機能
- AC-LINK機能
- POWERスイッチ機能の設定
- ソフトウェアPower Off



- Power On Self-Test(POST)
- システム診断(T&D)ユーティリティ



オフライン保守ユーティリティ
 DUMPスイッチによるメモリダンプ機能

- 87(W)×365(D)×304(H)mm(縦置 き時)の省スペース設計
- 横置き可能

- 便 利なセットアップユーティリティ
- iManagement Console



2

SURFNAVIの特長と機能

SURFNAVIは、Express5800をさまざまなインターネット機能を持ったインターネット サーバとして使用するために開発されました。

最近、インターネットサーバ用のプラットフォームとして注目のLinux上に、世界中で抜群 の評価を誇るSendmailメールサーバ、Apacheウェブサーバ、Squidキャッシュサーバなど のインターネットサーバアプリケーションを搭載して、バランスのよいサーバ機能を実現し ています。

加えて、これらを統合的に運用管理するための iManagement Console機能を備え、難しく 思われたサーバの運用もとても簡単に行えます。 また、セキュリティ対策も行われており、インターネット環境でも安心です。

• オールインワン

TurboLinux Serverをベースに、インターネットサーバアプリケーションとして、電子 メール、ウェブサーバ、プロキシサーバ、パケットフィルタリング機能などを一台の サーバに抜群のバランスで搭載しています。

すぐに使える

専用の初期導入ツールにより、約10分でお客様の環境に適合したSURFNAVIの導入が完 了します。

● 簡単運用管理

インターネットサーバ全体を一元管理するための機能として、Webブラウザを使用して SURFNAVIを簡単に運用管理できる「iManagement Console」機能を備えています。こ の運用管理画面からサーバ全体、またはサーバ上で動作している各種機能の稼働状態の 確認や、設定変更を行うことができます。



添付のディスクについて

SURFNAVIには、セットアップや保守・管理の際に使用するCD-ROMやフロッピーディス クが添付されています。ここでは、これらのディスクに格納されているソフトウェアやディ スクの用途について説明します。

- 「保守・管理ツールCD-ROM」はSURFNAVI以外のコンピュータに使用しないでください。このCD-ROMは、CD-ROMが添付されていたSURFNAVIにのみ使ってください。誤動作の原因となります。
 - 添付のフロッピーディスクやCD-ROMは、SURFNAVIの設定が完了した後でも、シ ステムの再インストールやシステムの保守・管理の際に使用する機会があります。なく さないように大切に保存しておいてください。

● バックアップCD-ROM

SURFNAVIシステムのバックアップとなるCD-ROMです。

再セットアップの際は、このCD-ROMと添付の「バックアップ CD-ROM用インストール ディスク」からSURFNAVIへソフトウェアをインストールします。詳細は62ページを参 照してください。

バックアップ CD-ROMには、SURFNAVIのセットアップに必要なソフトウェアや各種 モジュールの他にSURFNAVIシステムの管理・監視をするための専用のアプリケーショ ン[ESMPRO]が格納されています。SURFNAVIシステムのRAS機能を向上するために ぜひお使いください。6ページを参照してください。

● 保守・管理ツールCD-ROM

SURFNAVIの保守・管理の際に使用するCD-ROMです。

このCD-ROMには次のようなソフトウェアが格納されています。

- 保守・管理ツール

再セットアップの際にExpress5800シリーズ専用の保守パーティションを作成した り、システム診断やオフライン保守ユーティリティなどの保守ツールを起動したり するときに使用します。詳細は148ページを参照してください。

– MWA

SURFNAVIでシステムが立ち上がらないようなときに、リモート(LAN接続または RS-232Cケーブルによるダイレクト接続)で管理コンピュータからSURFNAVIを管 理する時に使用するソフトウェアです。詳細は157ページを参照してください。

● 初期導入設定用ディスク(フロッピーディスク)

初期導入時の設定情報を書き込みます。設定情報の作成や変更をする「初期導入設定ツー ル」も含まれています。 パスワードリセットディスク(フロッピーディスク)

SURFNAVIの設定変更や管理をするソフトウェア「iManagement Console」の管理者パスワードを忘れてしまった場合に使用します。使用方法については、248ページを参照してください。



● バックアップCD-ROM用インストールディスク(フロッピーディスク)

システムの再インストールの際に使用します。

ESMPRO

「ESMPRO®」は、NECが提供するサーバ管理・監視ソフトウェアです。 SURFNAVIの稼動状況や障害の監視をリモートで行い、障害を事前に防ぐことや万一の場合 に迅速に対応することができます。



SURFNAVIを運用する際は、ESMPROを利用して、万一のトラブルからシステムを守るよう心がけてください。

添付のCD-ROM「バックアップCD-ROM」にはSURFNAVIを監視するソフトウェア 「ESMPRO/ServerAgent」とSURFNAVIを管理するためのソフトウェア「ESMPRO/ ServerManager」が格納されています。

ESMPRO/ServerAgentはあらかじめSURFNAVIの一部としてシステムに組み込まれています。また、再インストールの際にも自動的にインストールされます。

ESMPRO/ServerManagerはネットワーク上のコンピュータにインストールします。インストールの方法や注意事項については5章で説明しています。

ESMPROを使ってさらに高度なクライアントサーパシステムを構築する場合は別売の 「ESMPROシステム構築ガイド Ver.2.0(UL9005-201)」を参照してください。この説明書 はESMPRO製品をシステムで活用するためのガイドです。

また、ESMPROには、サーバ管理用ソフトウェアをはじめ、ネットワーク管理や電源管理、 ストレージ管理を行う専用のアプリケーション(ESMPROプロダクト)が用意されています。 ESMPROプロダクトについては、お買い求めの販売店、または保守サービス会社にお問い 合わせください。

各部の名称と機能

本装置の各部の名称を次に示します。ここでは本装置で使用するコネクタやランプのみを説明します。

装置前面

① POWERスイッチ

SURFNAVIの電源をON/OFFするスイッチ。一度押 すとPOWERランプが点灯し、ONの状態になる。 もう一度押すとOFFの状態になる(→10ページ)。 (ESMPROをインストールすると、ESMPROで OFFの状態を細かく設定することができる。)

- ② POWERランプ(緑色)
 電源をONにすると緑色に点灯する(→9ページ)。
- ③ DISKアクセスランプ(緑色)

取り付けている内蔵型ハードディスクが動作してい るときに点灯する(→10ページ)。

④ CD-ROMドライブ

CD-ROMのデータの読み出しを行う(→14ペー ジ)。

- ④-1 エマージェンシーホール
- ④-2 トレーイジェクトボタン
- ④-3 アクセスランプ(アクセス中はオレンジ色に 点灯)

⑤ 3.5インチフロッピーディスクドライブ

3.5インチフロッピーディスクを挿入して、データの書き込み/読み出しを行う装置(→12ページ)。

- ⑤-1 イジェクトボタン
- ⑤-2 ディスク挿入口
- ⑤-3 フロッピーディスクアクセスランプ(アクセ ス中は緑色に点灯)

⑥ スタビライザ(2個、添付品)

SURFNAVIを縦置きにして設置するときに SURFNAVIを固定する器具(→21ページ)。







装置背面

- **電源コネクタ**
 添付の電源コードを接続する(→22ページ)。
- ② LANポート2(インターネット)
 LAN上のネットワークシステムと接続する (→22ページ)。
- ③ セキュリティブレート 盗難防止用器具を取り付けることで装置内部 の部品の盗難を防止することができる(→22 ページ)。
- ④ シリアルポート1コネクタ
 シリアルインタフェースを持つ装置と接続する(→22ページ)。UPSを使用する場合に接続する。
- ⑤ シリアルポート2コネクタ 管理コンピュータから保守・管理を行う際に 接続する(→22ページ)。
- ⑥ LANポート1(ローカル側ネットワーク)
 LAN上のネットワークシステムと接続する (→22ページ)。
- ダンプスイッチ
 SURFNAVIのダンプ診断を行う押しボタン スイッチ。通常は使用しない。



装置内部

- ① 3.5インチフロッピーディスクドライブ
- 2 CPU
- 3 CD-ROMドライブ
- ④ AGP/PCIライザーカード
- ⑤ マザーボード
- ⑥ ハードディスク(標準装備)
- ⑦ 電源ユニット



マザーボード

マザーボード上のコネクタの位置と名称を示します。(ここではSURFNAVIのアップグレードや保守(部品交換など)の際に使用するコネクタのみ挙げています。その他のコネクタや部品については出荷時のままお使いください。)

- 1) CPU
- CPUファン
- ③ CPUファンコネクタ
- ④ フロントファンコネクタ
- ⑤ CMOSクリア用ジャンパスイッチ(254 ページ参照)
- ⑥ DIMMソケット(Slot #1)
- ⑦ DIMMソケット(Slot #2)
- ⑧ DIMMソケット(Slot #3)
- ⑨ PCIライザカード(AGPスロットを1スロット、PCIスロットを2スロット搭載。上から PCI#2→PCI#1→AGP)
- 11) 外部接続コネクタ(前ページ参照)
- ① CD-ROMドライブ用コネクタ
- 12 電源コネクタ
- ③ CD-ROMドライブコネクタ(Ultra ATA)
- ハードディスクドライブコネクタ(Ultra ATA)
- 15 スピーカ用コネクタ
- 16 フロッピーディスクドライブコネクタ
- ① リチウム電池(バッテリ)

ランプ

SURFNAVIのランプの表示とその意味は次のとおりです。

POWERランプ

SURFNAVIの電源がONの間、ランプが緑色に点 灯しています。電源がSURFNAVIに供給されてい ないとPOWERランプが消灯します。





装置前面側

装置背面側

DISKアクセスランプ

DISKアクセスランプはSURFNAVI内部のハード ディスクにアクセスしているときに点灯します。

フロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブ のアクセスランプは、それぞれにセットされてい るディスクやCD-ROMにアクセスしているときに 点灯します。



POWERスイッチ ~電源のON/OFF~

SURFNAVIの電源をON/OFFする方法について説明します。

電源をONにする

次の順序で電源をONにします。

1. フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクをセットしていないことを確認する。

添付の「初期導入設定用ディスク」を使ったセットアップの際や「パスワードリセットディスク」を 使った管理者パスワードのリセットの際はそれぞれのフロッピーディスクをセットしておいてく ださい。

2. SURFNAVIに接続している周辺機器の電源をONにする。



無停電電源装置(UPS)などの電源制御装置に電源コードを接続している場合は、電源制御装置の電源がONになっていることを確認してください。

3. SURFNAVI前面にあるPOWERスイッチ を押す。

POWERランプが緑色に点灯します。

電源をONにしてからしばらくの間、 SURFNAVIは自己診断プログラム (POST)を実行してSURFNAVI自身の診 断しています。POSTを完了すると SURFNAVIシステムが起動します。ネッ トワーク上のコンピュータからWebプラ ウザを使うとSURFNAVIの状態を見るこ とができます。詳しくは3章を参照して ください。



知っておきたいこと

電源をOFFにする

ここではiManagement Consoleを使った電源のOFFについて説明します。SURFNAVIの電 源がONの間にPOWERスイッチを押してもシャットダウン処理後に電源はOFFになります。 SURFNAVIの電源コードをUPSに接続している場合は、UPSに添付のマニュアルを参照す るか、UPSを制御しているアプリケーションのマニュアルも併せて参照してください。

- 1. クライアントマシンでWebブラウザを起動する。
- 2. 「アドレス」(または「場所」など)に「http://<SURFNAVIのIPアドレス、または名前>:50080/」と入 力する。

「iManagement Console パスワードの入力」が表示されます。

3. 「ユーザ名」は、「admin」、「パスワード」 は2章の「初期導入設定用ディスクの作 成」で設定したパスワードを入力する。

「スタート」画面が表示されます。

■ iManagement Console バスワードの入力	
J.	iManagement Console へのバスワードを入力し てください。
ユーザ名:	
パスワード:	
	ログイン

4. 「終了」をクリックする。



5. 「終了方法:」から「サーバシステムの電源 を切る」を選択して[OK]をクリックす る。

しばらくするとSURFNAVIの電源がOFF (POWERランプ消灯)になります。

6. 周辺機器の電源をOFFにする。



フロッピーディスクドライブ

SURFNAVI前面にフロッピーディスクを使ったデータの読み出し(リード)・保存(ライト)を 行うことのできる3.5インチフロッピーディスクドライブが搭載されています。

フロッピーディスクのセット/取り出し

フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットする前にSURFNAVIの電源が ON(POWERランプ点灯)になっていることを確認してください。

フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに完全に押し込むと「カチッ」と音がして、フロッピーディスクドライブのイジェクトボタンが少し飛び出します。

イジェクトボタンを押すとセットしたフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブか ら取り出せます。



フロッピーディスクアクセスランプが消灯していることを確認してからフロッピーディスク を取り出してください。アクセスランプが点灯中に取り出すとデータが破壊されるおそれが あります。

フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクは、データを保存する大切なものです。またその構造は非常にデリケートにできていますので、次の点に注意して取り扱ってください。

- フロッピーディスクドライブにはていねいに奥まで挿入してください。
- ラベルは正しい位置に貼り付けてください。
- 鉛筆やボールペンで直接フロッピーディスクに書き込んだりしないでください。
- シャッタを開けないでください。
- ゴミやほこりの多いところでは使用しないでください。
- フロッピーディスクの上に物を置かないでください。
- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど温度の高くなる場所には置かないでください。
- たばこの煙に当たるところには置かないでください。
- 水などの液体の近くや薬品の近くには置かないでください。
- 磁石など磁気を帯びたものを近づけないでください。
- クリップなどではさんだり、落としたりしないでください。
- 磁気やほこりから保護できる専用の収納ケースに保管してください。
- フロッピーディスクは、保存している内容を誤って消 すことのないようにライトプロテクト(書き込み禁止) ができるようになっています。ライトプロテクトされ ているフロッピーディスクは、読み出しはできます が、ディスクのフォーマットやデータの書き込みがで きません。重要なデータの入っているフロッピーディ スクは、書き込み時以外はライトプロテクトをしてお くようお勧めします。3.5インチフロッピーディスクの ライトプロテクトは、ディスク裏面のライトプロテク トスイッチで行います。



 フロッピーディスクは、とてもデリケートな記憶媒体です。ほこりや温度変化によって データが失われることがあります。また、オペレータの操作ミスや装置自身の故障など によってもデータを失う場合があります。このような場合を考えて、万一に備えて大切 なデータは定期的にバックアップをとっておくことをお勧めします。(SURFNAVIに添付 されているフロッピーディスクは必ずバックアップをとってください。)

CD-ROMドライブ

SURFNAVI前面にCD-ROMドライブがあります。CD-ROMドライブはCD-ROM(読み出し 専用のコンパクトディスク)のデータを読むための装置です。CD-ROMはフロッピーディス クと比較して、大量のデータを高速に読み出すことができます。



CD-ROMのセット/取り出し

CD-ROMは次の手順でセットします(ここでは横置きの場合を例に説明しています)。

- 1. CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする前にSURFNAVIの電源がON(POWERランプが緑色に 点灯)になっていることを確認する。
- CD-ROMドライブ前面のトレーイジェクトボタンを押す。
 トレーが少し出てきます。
- 3. トレーを軽く持って手前に引き出し、トレーが止まるまで 引き出す。



4. CD-ROMの文字が印刷されている面を上にしてトレーの上 に静かに、確実に置く。







■ CD-ROMのセット後、CD-ROMドライブの駆動音が大きく聞こえるときはCD-ROMを 重要 セットし直してください。

CD-ROMの取り出し

CD-ROMの取り出しは、CD-ROMをセットするときと同じようにトレーイジェクトボタン を押してトレーを引き出します。

アクセスランプが点灯しているときはCDにアクセスしていることを示します。トレーイジェ クトボタンを押す前にアクセスランプが点灯していないことを確認してください。

右図のように、片方の手でトレーを持ち、もう 一方の手でトレーの中心にあるローター部分を 押さえながらCD-ROMの端を軽くつまみ上げる ようにしてトレーから取り出します。

CD-ROMを取り出したらトレーを元に戻して ください。



取り出せなくなったときの方法

トレーイジェクトボタンを押してもCD-ROMをSURFNAVIから取り出せない場合は、次の 手順に従ってCD-ROMを取り出します。

- 1. POWERスイッチを押してSURFNAVIの電源をOFF(POWERランプ消灯)にする。
- 2. 直径約1.2mm、長さ約100mmの金属製 のピン(太めのゼムクリップを引き伸ばし て代用できる)をCD-ROM前面右側にあ るエマージェンシーホールに差し込ん で、トレーが出てくるまでゆっくりと押 す。

₩O iiie

- つま楊枝やプラスチックなど折れ やすいものを使用しないでください。
- 上記の手順を行ってもCD-ROMが 取り出せない場合は、保守サービ ス会社に連絡してください。
- 3. トレーを持って引き出す。
- 4. CD-ROMを取り出す。
- 5. トレーを押して元に戻す。



CD-ROMの取り扱いについて

SURFNAVIにセットするCD-ROMは次の点に注意して取り扱ってください。

- CD-ROMを落とさないでください。
- CD-ROMの上にものを置いたり、曲げたりしないでください。
- CD-ROMにラベルなどを貼らないでください。
- 信号面(文字などが印刷されていない面)に手を触れないでください。
- 文字の書かれている面を上にして、トレーにていねいに置いてください。
- キズをつけたり、鉛筆やボールペンで文字などを直接CD-ROMに書き込まないでください。
- たばこの煙の当たるところには置かないでください。
- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど温度の高くなる場所には置かないでください。
- 指紋やほこりがついたときは、乾いた柔らかい布で、内側から外側に向けてゆっくり、 ていねいにふいてください。
- 清掃の際は、CD専用のクリーナをお使いください。レコード用のスプレー、クリーナ、 ベンジン、シンナーなどは使わないでください。
- 使用後は、専用の収納ケースに保管してください。

リセット

SURFNAVIが動作しなくなり、ネットワーク上のコンピュータからのシャットダウンができ なくなったときは、次の方法でリセット、またはシャットダウンすることができます。

クライアントマシンからのリセット

11ページの電源をOFFにする手順を参考 にして「iManagement Console」の画面が 表示した後、[スタート]アイコンをクリッ クし、「終了」をクリックしてください。 表示されたダイアログボックスの「終了方 法:」から「サーパシステムを再起動する」を 選択して[OK]をクリックするとシャット ダウン処理の後、SURFNAVIは再起動しま す。





再起動の完了は通知されません。

強制電源切断

クライアントマシンからSURFNAVIをシャットダウンでき なくなったときや、POWERスイッチを押しても電源を OFFにできなくなったときに使用します。

SURFNAVIのPOWERスイッチを4秒ほど押し続けてくだ さい。電源が強制的にOFFになります。(電源を再びONに するときは、電源OFF(強制電源切断)から約10秒ほど待っ てから電源をONにしてください。)



~Memo~